

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	府内で最も安心・安全実感プロジェクト		実施期間	平成27年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年7月6日八幡市と京都府警察は京都一安全・安心・自然と歴史文化が調和する八幡市民ぐるみ推進運動をスローガンとして協定を締結し、互いに連携した取り組みが必要である。 ・台風や大雨による大災害に備え、土砂災害警戒区域に指定されている市道の整備が必要である。 ・市民とともに、火災から生命と財産を守るため、消火栓ホースを更新することが必要である。 ・市民へ確実に災害時の情報を伝達する防災ラジオの受信環境の強化が必要がある。 ・東日本大震災を教訓に、緊急防災備蓄品や備蓄倉庫のさらなる充実が必要である。 ・高齢者を狙ったひったくりが続発し、防犯対策が必要である。 ・大規模災害に備えて、4WDの緊急搬送車の整備が必要である。 ・大地震に備え、木造住宅、公共施設の耐震改修を今後も実施することが必要である。 							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の記録的豪雨から生命・財産を守るまちづくりを進める。 ・東日本大震災を教訓に、防災対策向上に向けた取組を市民と一体となって進めていく。 ・土砂災害警戒区域等のデータ整理、対策方針の設定、対策全体計画の策定をとりまとめる。 ・公共施設の耐震化のみならず、個人の住宅や集合住宅等の耐震化、建替等を推進する。市民や自治会等との協働による、災害に強い安心・安全なまちづくりを目的とする。 							
	総事業費（千円）	70,052	本年度事業費（千円）	49,077	交付金額（千円）	4,724		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
	美桜12号線法面補強工事	交付対象事業	土砂災害特別警戒区域に指定されている市道の法面補強工事を行い、周辺住民の安全を確保する。		用地取得、法面補強工事設計			
	農業者労災保険特別加入促進助成	交付対象事業	農業者が労災保険の特別加入をする際に要する保険料の一部を助成することにより、農業従事者の負担軽減、福祉の増進及び生活安定を図る。助成額：当該年度の保険料の1/2（補助金、上限16,000円）		農業者労災保険特別加入促進助成 加入者 43人			
	まちなか防犯カメラ設置事業	交付対象事業	京都府警や自治会からの強い要望により、犯罪の防止を目的に駅前や公園等に設置。		新設15カ所			
	文化センター防犯カメラ設置事業	交付対象事業	文化センターのホールは、近隣市からの多数の方が利用し、防犯強化のためロビー監視用カメラ設置4カ所に新規設置する。		新設4カ所			
	市民とともに活動、消火栓用ホース購入費	交付対象事業	使用可能が不明の35年以上が経過した消火栓ホースを緊急整備する。近年、消火栓の金属が盗まれ、注目を浴びている。		消火栓用ホース413本			
	防災ラジオ用電波実測調査業務委託	交付対象事業	市民に配布している防災ラジオの音質向上のため、市内90カ所受信感度実測調査する。電波出力を計測する。		受信感度実測調査			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：八幡市

市町村 実施事業	折りたたみ式リヤカー購入	交付対象事業	自主防災推進協議会からの要望により、折りたたみ式リヤカーを購入する。	53台
	福祉避難所防災備蓄品購入	交付対象事業	南海トラフ地震、有馬・高槻構造線に基づく地震等の各種災害に備えるため、防災備蓄品を整備する。	水（500ml）3,000本、アルファ米3,000食、紙オムツ3,740枚、生理用品3,808個
	消防人員搬送車新規購入	交付対象事業	消防本部専用の自動車を新規購入し、災害に対応できるよう4WD、車高の高い車を整備し、迅速化を図る。	4WD 1台
	分庁舎備蓄倉庫整備工事費	交付対象事業	分庁舎南側にプレハブ倉庫新設（防災備蓄品を保管）し、災害に備える。	プレハブ倉庫新設
	避難所誘導標識設置事業	交付対象事業	避難所誘導標識を電信柱に設置	設置数 64カ所
	通信指令台更新実施設計委託	交付対象事業	29年度可動に向け通信指令施設を更新し、併せてデジタル化未対応のシステムも対応させる。	実施設計
住民が 取り組む 事業	木造住宅耐震診断事業	関連事業	耐震診断士派遣 診断結果をもとに改修計画の提案	耐震診断士派遣 23件
	木造住宅耐震改修助成事業	関連事業	耐震性が不十分と判定された木造住宅の耐震改修経費に助成	改修 20件、簡易改修 4件
	被災者住宅等支援事業	関連事業	台風18号により、床上浸水等の被害を受けた住宅の居住者に対し補修費用等、再建に要する経費を助成	助成件数 4件
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	消火栓ホース緊急整備 400本（27年度分）	成果指標の実績値 （28年4月1日時点）	413本（27年度分）
	成果指標の達成状況	○	（左の理由） 防災対策向上に向けた取組を市民と一体となって進めていく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	折りたたみ式リヤカー整備 50台	成果指標の実績値 （28年4月1日時点）	53台
	成果指標の達成状況	○	（左の理由） 自助共助をキーワードに自主防災組織にリヤカーを整備し、防災対策向上に向けた取組を市民と一体となって進めていく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）
成 果	成果指標の目標数値		成果指標の実績値 （28年4月1日時点）	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：八幡市

果 指 標 ③	成果指標の達成状況	(左の理由)		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	自助共助をキーワードに市民の防災の意識を高め、災害に強い安心・安全なまちづくりの寄与した。			
	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。			
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業の木造住宅耐震診断事業、木造住宅耐震改修助成事業により市民とともに八幡市全体で減災の意識を高めていく。		
	府と市町村等との連携に資する成果	防犯カメラについては、八幡署と協議を行い、今後も京都府警の協力のもと安心・安全のまちづくりに努める。		
	住民の自治意識を高める成果	防災ラジオ用電波実測調査により、市内90カ所の防災ラジオの受信感度を調べ、住民への防災情報への伝達向上に寄与した。		
	リーディング・モデル成果			
	広域的波及成果			
	行財政改革に資する成果			
	その他の成果			

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。